

熊本大学教職大学院「現職院生が企画・運営するセミナー開催による学び」

教職大学院設立当初より、現職院生2年生が中心となり企画・運営するセミナーを開催している。今年度は、開催後にアンケートを実施し、セミナーの学びが学校現場でどのように広がったのか、その成果や課題をまとめ動画制作を行った

NITS・熊本大学教職大学院コラボ事業

これからの学校を「対話」する

～子供も教師もしあわせな学校をめざして～

「対話」を通して、新たな気づきが生まれる。
教師間の「対話」で、学校が変わる。
子供も教師もしあわせな学校をつくりだす
「これからの」学校を「対話」しませんか？

【講演】
学校に「対話」の文化・仕組みをつくる
～学びのゆるやかな構造転換に向けて～
熊本大学教育学部准教授 吉野一徳 先生

【実践紹介】 校内研修を「本物の学びの場」にしたい
福岡県古賀市立小野小学校教諭 今林菜美子 先生

【ワークショップ】 「対話」の魅力を味わおう

教師間の「対話」で、学校が変わる！

セミナー企画

「よい学校って？」「そもそも学ぶってどういうこと？」「働くってどういうこと？」など、対話を「対話」することがある。子供が夢中で学ぶ姿や教師がいざという時に、この「対話」の中にあるのではないかと私たちは考えています。
今回、教育学部専攻の吉野准教授と、校内対話文化を醸成する実践を小学校の今林菜美子先生がお招きして、共に「対話」を体験する研修会を企画しました。参加された皆さんが、「対話」の魅力を味わい、「子供も教師もしあわせな学校」をめぐる機会となり、さらに「対話」の文化がそれぞれの学校に浸透するように広がる、そんな体験をともにしたいと考えています。

【講演】 吉野 一徳 准教授
1980年、兵庫県生まれ。哲学者・教育学者。早稲田大学大学院教育学研究科博士課程修了。早稲田大学教育・総合学術院助手などを経て、現在、熊本大学教育学部准教授。博士(教育学)。
著書に、『親子で対話～10分からはじめる「本質」を考える』、『対話』(大和書房)、『「学校」をつくり直す』(河出書房)、他多数。

【実践紹介】 今林 菜美子 教諭
福岡県古賀市立小野小学校の研究主任として実践・発表を積み重ねてこられた、校内研修を通じた「学校の対話文化づくり」についてご紹介いただきます。

対象者	プログラム
・熊本県内の幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校 ・学校・高等学校・特別支援学校の教職員	13:30～13:35 コラボ研修プログラム開始にあたって (熊本大学大学院教育学研究科 専攻長 藤中久)
・熊本県内教育委員会担当者 ・附属学校の教職員	13:35～15:05 講演および実践紹介 熊本大学教育学部 吉野一徳 准教授 福岡県古賀市立小野小学校 今林菜美子 教諭
・教職を目指す大学生・大学院生など	15:15～16:35 対話体験ワークショップ・質疑応答 16:35～16:40 アンケート記入、閉会



参加者が学校現場で実践できることを目指し、講師と打ち合わせを重ね、ワークショップ形式を取り入れた構成とした

主 催：熊本大学教職大学院 後援：熊本県教育委員会 熊本市教育委員会
支 店：QRコード又はURL <https://x.gd/cisvi> (定員に限り次第、締切)
連絡先：金井義明(熊本大学教職大学院)096-342-2797

「自分たちの課題を解決する」「参加者の課題を解決する」「同じ思いの仲間を増やす」をコンセプトに、セミナーの講師選定や内容の企画・準備を院生が行う

～学校現場の課題を「対話」で解決する～

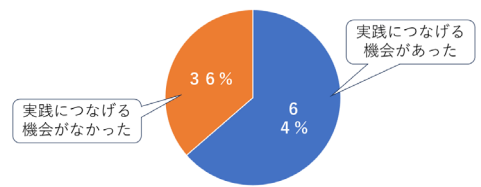
全職員で……

- ① 最上位目標を対話する
- ② 研修をスリム化・一歩化することで自然に研修が深まる
- ③ 学校にとって本当に必要なものを対話する

アンケート収集

研修後のアンケート (10月11日実施、回答者54名)

本研修で学んだことを実践につなげる機会がありましたか。



具体的にはどのような場面で実践しましたか。

- ・校内研修において、「学び合う」児童の姿とはどのようなものか、「学び合う」と「話し合う」とはどう違うかなどを職員間で対話しながら共通認識を持つことができた。
- ・「そもそも」を問いつ吉野先生とのワークをもとに、6年生の担任に研修での学びを紹介した。学級目標に入っていた「チームワーク」のワードを哲学対話的に話し合う活動を取り入れていただきました。
- ・学級経営や授業の中で、「なぜ学習するのか」「友達と一緒に学び合うよさは何か」等について話し合った。1年生なりに一生懸命語り合っていた。(小学校教職員)

動画配信

「これからの学校を「対話」する」のその後

～学校現場での実践に向けて～

学校現場での「対話」を促すセミナーの参加者は、学びをどう生かしたのかを追いかけ、あらためて「教師の学び」「対話の大切さ」を考えます

総括 吉野一徳氏 熊本大学准教授

熊本大学教職大学院生 現場での「対話」実践者

EduAction Kumamoto Education Week 2024-25 みんなの夢が未来を創る

インタビュー調査

働き方改革を促進する

～対話の文化をつくる 新しいことにチャレンジ～

大切なこと……

- ① 新しいことに反発があるのは自然
- ② 見る・知る・くり返すの場づくり
- ③ ビジョンとロードマップ

「対話」がこれからの学校を変える

実際に取り組みを行った参加者へのインタビューを行い、講師からさらに深い話を聞くことができた

セミナーで学んだことが実際に現場で生かされたのかをアンケートを実施して明らかにした

一連の取り組みをまとめ、Kumamoto Education Weekにおいて公開した